

# 1章 不定詞

## 要点

不定詞は、目的語や副詞などを従えるという動詞的な性質を持ちながら、名詞・形容詞・副詞の働きをする。

### 重要ポイント1 不定詞の名詞用法

▶名詞の働き、つまり主語・補語・目的語として働く不定詞。

#### (1) 主語になる

To make a plan is easy.

(計画を立てることは易しい。)

#### (2) 補語になる

My dream is to be an actor.

(私の夢は俳優になることです。)

#### (3) 他動詞の目的語になる

I want to stay longer, but I don't like to \*trouble you.

\*trouble : 「～に迷惑をかける」

(私はもっと長く滞在したいのですが、あなたに面倒をかけたたくない。)

#### (4) 真主語

It is easy to make a plan.

To solve this problem is difficult.

→ It is difficult to solve this problem.

(この問題を解くのは難しい。)

#### (5) 真目的語

I found it difficult to solve this problem \*by myself.

\*by oneself : 「独力で」

(私は自分でこの問題を解くのが難しいと分かった。)

#### (6) 疑問詞+不定詞

不定詞が疑問詞を伴う場合は、名詞句を作る。

I don't know which way to take.

= I don't know which way I should take.

(私にはどちらの方法を選んだらよいかわかりません。)

Will you advise me **which to choose**?

= Will you advise me which I should choose?

(どちらを選んだらよいか助言してくれませんか。)

#### ■ 確認問題 1

次の各文の不定詞に注意して、和訳せよ。

- (1) To teach is to learn twice.
- (2) I would like to ask you a favor.
- (3) It is hard to find books on the topic.
- (4) She found it difficult to forget him.
- (5) There are so many buttons here. I don't know which to start with.

## 重要ポイント2 不定詞の形容詞用法

(1) 形容詞の働き、つまり名詞を修飾する働きをする不定詞。

(2) 「～するための、～するべき、～するような、～するという」といった意味合いで手前の名詞を飾る。

There are a lot of places to visit in Singapore.

(シンガポールには訪れるべき場所がたくさんある。)

He is not a man to tell a lie.

(彼は嘘をつくような人ではない。)

(3) 不定詞の末尾に<前置詞>が必要な場合があるので注意しよう。

She has no house to live in.

(彼女には住む家がない。)

ex. live in a house → a house to live in : 住む家

talk to someone → someone to talk to : 話し相手

cut meat with a knife → a knife to cut meat with : 肉切り包丁

(4) 過去のことを述べた文で、名詞に序数 the first, the second, (…), the や the only が付いていると、「～した」という意味になることがある。

Bill was **the only** student to answer the difficult question.

(ビルはその難しい質問に答えた唯一の生徒だった。)

### ■ 確認問題 2

次の英文を和訳せよ。

(1) This is a \*brochure about places to visit in Tokyo.

\*brochure : 「冊子」

(2) I have a few things to do.

(3) I think there's enough time to think about a career during college.

(4) Who is the first Japanese actor to star in a foreign movie?

### 重要ポイント3 不定詞の副詞用法

副詞の働き，つまり動詞や形容詞や副詞などを修飾する不定詞。

#### (1) 目的を表す

to 動詞の原形  
in order to 動詞の原形 } 「…するために」  
so as to 動詞の原形

I got up early **to watch** the TV program.

(私はそのテレビ番組を見るために早起きした。)

He studied hard **in order [so as] to pass** the examination.

(彼は試験に合格するために一生懸命勉強した。)

▶否定の目的「～しないために [～しないように]」を表すには in order not to 動詞の原形，so as not to 動詞の原形を用いる。ただし be careful [take care] 「気を付ける」に続く場合は，not to 動詞の原形でよい。

Simon got up early **in order [so as] not to be** late.

(サイモンは遅刻しないよう早起きした。)

Be careful [Take care] **not to \*spill** your coffee.

\*spill ~ : 「～をこぼす」

(コーヒーをこぼさないよう気を付けなさい。)

#### (2) 原因・理由を表す

to 動詞の原形 「…して […したので]」

▶この用法は be glad, be sad, be sorry, be disappointed など，「感情」を表す表現の後に用いることが多い。

I'm very glad **to see** you.

(お会いできて光栄です。)

She was surprised **to receive** a letter from him.

(彼女は彼から手紙をもらって驚いた。)

### (3) 判断の根拠を表す

to 動詞の原形 「…するとは […するなんて]」

How rich he is **to have** two \*villas!

\*villa: 「別荘」

(別荘を2軒持っているなんて彼はなんて裕福なんだろう。)

He must be crazy **to say** a thing like that.

(そんなことを言うなんて彼はどうかしているにちがいない。)

### (4) 程度を表す

too 形容詞／副詞 to 動詞の原形 { …するにはあまりに～  
ととも～なので…できない

形容詞／副詞 enough to 動詞の原形 { …するには十分 […するほどまで] ～  
ととも…なので～する

I am **too** tired **to walk** any more.

(私はこれ以上歩くにはあまりに疲れている。)

(私はとても疲れているのでこれ以上歩けない。)

Her skirt was long enough **to touch** the floor.

(彼女のスカートは床に触れるほど長かった。)

(彼女のスカートはとても長かったので床に触れていた。)

### (5) 結果を表す

… (,) to 動詞の原形 「…、そして～する」

… (,) only to 動詞の原形 「…、だが結局～する」

… (,) never to 動詞の原形 「…、そして2度と～しない」

He grew up **to be** a great statesman.

(彼は成長し、偉大な政治家になった。)

She hurried to the airport, **only to miss** the plane.

(彼女は空港へと急いだが、結局その便に乗り遅れた。)

The journalist went to Jerusalem, **never to return**.

(そのジャーナリストはエルサレムに行き、二度と戻らなかった。)

### ■ 確認問題 3

次の英文を和訳せよ。

(1) You need good \*eyesight to become a pilot.

\*eyesight : 「視力」

(2) Please explain clearly in order not to cause a \*misunderstanding.

\*misunderstanding : 「誤解」

(3) We were \*disappointed to hear the result of the game.

\*disappoint ~ : 「～を絶望させる」

(4) I grew to know Roy well through work.

(5) We drove north, only to find that we were going in a wrong \*direction.

\*direction : 「方向」

## 重要ポイント4 不定詞の重要表現

### (1) 不完全自動詞 (SVCの文型をとる自動詞) + 不定詞

① seem [appear] to 動詞の原形「～であるように思われる, ～であるようだ」

Satoshi **seems to have** \*plenty of money.

\*plenty of ~ : 「たくさん」

(サトシはたくさんのお金を持っているようだ。)

She **appears to be** in good health.

(彼女は元気そうである。)

② come to [get to] 動詞の原形「(だんだんと) ～するようになる」

Anne **came to** \*appreciate Oriental art.

(アンは東洋芸術を心から楽しむようになった。)

\*appreciate ~ : 「～を楽しむ」

▶ come to 動詞の原形の部分にくる動詞は think, believe, see [=understand], love など, 思考や感情に関するものが多い。

cf. 「(経験・努力によって) ～するようになる」を表すには, learn to 動詞の原形 を用いる。

He **learned to speak** Chinese.

(彼は中国語が話せるようになった。)

③ happen to 動詞の原形「偶然～する, たまたま～する」

The New Year's day will **happen to fall** on a Sunday next year.

(元旦は, 来年は偶然日曜日にあたる。)

④ be to 動詞の原形

a 予定: ～する予定である〔通常公的な予定に用いる〕

The Prime Minister **is to speak** on television this evening.

(総理は今晚テレビで話すことになっている。)

b 義務: ～しなければならない

You **are to pay** your \*taxes by next week.

\*tax : 「税金」

(あなたは来週までに税金を払わなくてはならない。)

c 意図：～するつもりである〔通常if節の中で〕

If you **are to succeed**, you need to work harder.

(成功しようと思うなら、もっと一生懸命働く必要がある。)

be to 動詞の原形 は他にも次のような意味を表すことができる。

d 可能：～することができる〔通常受動態で〕

Not a soul [person] **was to be seen** on the street.

(通りには人っ子一人見えなかった。)

e 運命：～する運命である

He **was never to** see his son again.

(彼は二度と息子には会わない運命にあった。)

## (2) 他動詞 + O + 不定詞

< S+V+O+ 不定詞 >の構文では、Oが不定詞の意味上の主語となる。

I want you **to go** there tomorrow.

S' V'

(私はあなたに明日そこに行ってほしい。)

cf. I want **to go** there tomorrow. (私は明日そこに行きたい。)

S' V'

I asked her **to help** me.

S' V'

(私は彼女に、助けてくれるように頼んだ。)

My mother told me **to study** harder.

S' V'

(私の母は、もっと勉強しなさいと言った。)

▶ 否定形は not [never] を不定詞の前に置く。

The doctor advised Mr. Inoue **not to smoke**.

S' V'

(医者(井上さん)はタバコを吸わないように助言した。)





## 重要ポイント5 不定詞の受動態と完了形

### 不定詞の形

形 \ 態	能動態	受動態
単純形	to do	to be done
完了形	to have done	to have been done

▶ 否定形はそれぞれの前に否定語 [not / never] を置く。

#### (1) 不定詞の受動態

The politician agreed **to be interviewed** on TV.  
(その政治家はテレビの取材を受けることに同意した。)

#### (2) 不定詞の完了形－文の述語動詞よりも前の時を表す。

You seem **to have changed** your eating habits.  
(あなたは食習慣を変えたようですね。)

### ■ 確認問題 5

次の英文を和訳せよ。

- (1) I hate to be \*bound by rules.  
\*bind ~ : 「～を縛る」
- (2) Cars that had been damaged were taken to be \*repaired.  
\*repair ~ : 「～を修理する」
- (3) He is said to have been injured in the game.
- (4) Kyoko is lucky to have gone abroad when she was young.

## 重要ポイント6 不定詞の意味上の主語

不定詞には、その不定詞の行為者となる意味上の主語がある。

### (1) 名詞用法

- It's dangerous to play near the railroad.  
(線路付近で遊ぶのは危険である。)
- It's dangerous for children **to play** near the railroad.  
(子供が線路付近で遊ぶのは危険である。)

▶ 形容詞が kind, nice, wise, polite など人の性質や評価を表す場合は of を用いる。

- It is \*foolish to say a thing like that.  
\*foolish : 「愚かな」  
(そんなことを言うなんて愚かだ。)
- It is foolish of you **to say** a thing like that.  
[=You are foolish to say a thing like that.] [副詞用法]  
(そんなことを言うなんて君は愚かだ。)

▶ 同じ形容詞でも、for と of を使い分ける場合もある。次の2文を比べてみよう。

- ① It was good of you **to go jogging** with me.  
(一緒にジョギングに行ってくれてありがとう。)  
→ good は kind / nice と同じく「親切的な」の意味
- ② It is good for you **to go jogging**.  
(君がジョギングに行くのは良いことだ。)  
→ good は「良い、望ましい」の意味

### (2) 形容詞用法

- In this hotel there is an indoor pool to swim in.  
(このホテルには泳ぐための室内プールがある。)
- In this hotel there is an indoor pool for guests **to swim in**.  
(このホテルには客が泳ぐための室内プールがある。)

### (3) 副詞用法

{ She opened the door (in order) to enter the room.  
(彼女は部屋に入ることができるようにドアを開けた。)  
She opened the door (in order) for me **to enter** the room.  
(その女性は私が部屋に入れるようにドアを開けてくれた。)

{ This English book is easy **enough** for you **to read**.  
(この英語の本は君が読むには十分やさしい。)  
This English book is so easy that you can read it.  
(この英語の本はとてもやさしいので君にも読める。)

{ This English book is **too** difficult for you **to read**.  
(この英語の本は君が読むには難しすぎる。)  
This English book is so difficult that you cannot read it.  
(この英語の本はとても難しいので君には読めない。)

#### ■ 確認問題 6

次の英文を和訳せよ。

(1) It is important for children to \*look up to their parents as they grow.

\*look up to ~ : 「~を尊敬する」

(2) This may be the chance for my dream to come true.

(3) You need to talk loud enough for the \*audience to hear.

\*audience : 「聴衆」

## 重要ポイント7 原形不定詞と第5文型

### (1) 使役動詞とともに用いる場合

▶ 人に何かをさせる〔してもらう〕ことを意味する動詞を使役動詞という。

I made him go there.

S V O C

(彼をそこに行かせた。)

I had him go there for you.

S V O C

(あなたの代わりに彼をそこに行かせ〔彼に行ってもらい〕ました。)

I let him go there.

S V O C

(彼をそこに行かせてあげた。)

▶ 使役動詞の make, have, let は目的語の後に to 不定詞ではなく、原形不定詞を用いる。使い方は同じだが、意味は少しずつ異なる。

make : 相手が望んでいなくてもとにかくさせる。

have : 中立で、事務的。

let : 相手が望んでいることをさせてあげる。許可。

### (2) 知覚動詞とともに用いる場合

▶ 「五感」を司る動詞を知覚動詞〔感覚動詞〕という。

I saw him smile.

S V O C

(彼がほほえむのを見た。)[彼 = smile]

I heard him sing.

S V O C

(彼が歌うのを聞いた。)[彼 = sing]

I felt the earth \*shake.

S V O C

\*shake : 「揺れる」

(地面が揺れるのを感じた。)[地面 = shake]

### (3) その他の注意点

① < have + 人 + 原形不定詞 > ⇔ < get + 人 + to 不定詞 >

▶ 使役動詞 get は意味的には have と似ているが、目的語の後に to 不定詞を用いる。

She **had** the doorman **carry** her suitcase.

⇔ She **got** the doorman **to carry** her suitcase.

(彼女はドアボーイにスーツケースを運んでもらった。)

≡ She **got** her suitcase **carried** by the doorman.

② < help + 人 + 原形不定詞 > ⇔ < help + 人 + to 不定詞 >

▶ help は目的語の後に to 不定詞と原形不定詞のどちらを置いてもよい。

a The teacher **helped** me **carry** the box.

(私<sup>が</sup>その箱を運ぶのを先生は(自ら)手伝ってくださった。)

b The teacher **helped** me **to carry** the box.

(私<sup>が</sup>その箱を運ぶのを先生は手伝ってくださった。)

### (4) 受動態にする時の注意

① < 使役動詞 make + O + 原形不定詞 > の文は、受動態にすると不定詞の to が必要となる。

He **made** me **wash** his car. (彼は私に車を洗わせた。)

→ 受動態: I **was made to wash** his car by him.

(私は彼に車を洗わされた。)

② < 知覚動詞 + O + 原形不定詞 > の文は、受動態にすると不定詞の to が必要となる。

We **saw** her **enter** his study.

(私たちは彼女が彼の書斎に入るのを見た。)

→ 受動態: She **was seen to enter** his study.

(彼女は(私たちに)彼の書斎に入るのを見られた。)

## ■ 確認問題 7

指示に従って答えよ。

- ① (1) ~ (3) を英訳せよ。
- ② (4) ~ (5) を受動態に書き換えよ。
  - (1) トムは私にその仕事をさせた。
  - (2) 私にあなたの手伝いをさせて下さい。
  - (3) 私は何かが背中に触れるのを感じた。
  - (4) I saw Chris \*cross the street.  
\*cross ~ : 「~を横切る」
  - (5) The guard made me wait at the gate.